

ミニカー・レースは④フロンテの青木健一郎のブッチギリで幕。



## ミニカー・レース

73年7月8日 野呂山スピードパーク

スタート：AM11：00 出走：13台 1周1.38km×15周

予選でポールポジションを獲得したのは、55秒6をマークした青木健一郎の④サンショップ・フロンテ。以下、大野弘雄（④ダイハツ・マックス）の60秒0、浜田正範（④フロンテ・クーペ）の64秒5とつづいている。

午前11時、青シグナルとともにスタートを切ったが、プラグをかぶらせた浜田はストップしたまま。そのまま押されてピットにはいり、点検を受ける。トップに立った青木は、1周めからブッチ切り。56秒台のタイムで、2位・大野を見る見るうちに引き離す。

浜田が戦列に加わったのは5周め。しかし、エンジンの調子が思わしくなく、まもなくピットに舞いもどる。

トップの青木はその後も順調に走りつづけ、9周めには2位・浜田を1ラップ。圧倒的な速さで優勝を飼った。

ミニカー・レース結果



青木健一郎のもち込んだ“お化けフロンテクーペ”

72年12月3日 野呂山スピードパーク

主催 チームアサヒ

ミニカー3時間耐久レース

第1ヒート

予選3位の④瀬良健一（ホンダN）が好スタートを切る。予選1、2位の④石崎恒行（Z）、④青木健一郎（フロンテクーペ）は一瞬出おくれ、それでも石崎は6番手あたりで第1コーナーへ向かうが、青木はいつまでたっても出走しない、ついてないことにスタートで出おくれたために後続車に追突され、車をいためてしまったのだ。そのため第1ヒートを青木はあきらめるしかない。

一方、第1コーナーから上のヘアピンに向かう地点でセカンドグループを走っていた④安原幸市（Z）がスピン、後続の車が2台ほど巻き込まれた。幸いドライバー、車とも大したことはなかったが④安原はコースに車をもどすのにてまどり、大切な数周を失ってしまった。